

## 愛・地球博 「地球を救う雨水利用」報告

関西雨水市民の会

2005年8月9日（火）～10日（水）、愛知万博瀬戸会場で「地球を救う雨水利用」をテーマとして、雨水関連の各種イベントが行われ、水野会長以下8人の会員、mokunokaiの安田さんの計9名が参加しました。



初日は村瀬誠氏を筆頭に韓国、ドイツ、ベルリン、バングラデシュから招いたパネラーとコーディネーター山本耕平氏でされた「雨水が地球を救う」対話集会からスタートしました。

関西雨水市民の会は10日（水）10：00～11：45の時間をいただき、久保副会長の「雨水、屋上緑化透水性舗装」の講演と高森氏をリーダーとして「透性植木鉢」のワークショップを行いました。早朝でしたが、まずまずの入場者で、ワークショップも盛り上がり、雨水の重要性をうまくアピールできたように思います。



雨水東京国際会議が8月6日に終わり、引き続いてのイベント参加でも有り、業務多忙の中参加いただいた会員の皆様には改めて感謝いたします。

昨年度の「第3回世界水フォーラム」に続き、東京、名古屋での雨水大会で、多くの方が雨水の重要性を認識もしくは再認識をされたことでしょう。

大阪でも「おおさかレインボウぼろじえくと」が2年計画で動いています。雨水の心地よい追い風が吹いてきました。我が会も今頑張らねばと思います。

雨の日に雨に親しむ人が増えそうです。  
ピチピチ チャプチャプ ランランラン！

## 雨水に感謝！

